

市民と苦楽を共に

松浦さとし

日本共産党市議会議員

日本共産党員として42年

2年前に誕生した安倍自公政権の「アベノミクス」で、大企業・大金持ちが潤いました。しかし、年金は切り下げられ、物価は上がる一方。医療・介護などの負担は増え、その上消費税増税で、地域や庶民の暮らしは悪くなるばかりです。こんな時こそ、市民の苦しみや痛みを温かい手を差しのべる政治が必要です。市民の願い届けるためこれからも全力で頑張ります。

松浦さとしの活動地域
 駒場南全域、つくし全域、潮見全域、鱒浦、藻琴、稲富、北浜、丸万、実豊、音根内、浦土別、栄、山里、清浦、能取

民報あばしり 号外
 日本共産党網走委員会
 発行所 網走市北8条西3丁目
 TEL 43-4458 FAX 43-4457

日本共産党網走市委員会は松浦敏司さんの活躍・実績・人柄を発表しましたので紹介いたします 2015年2月



苦しみを我がこととして

端野町（現北見市）で九人兄妹の末子として生まれる。家は中学一年の時、離農し、進学を断念。就職して必死に働き、青年運動の中で共産党入党。自分と同じ、苦しみ悩む、弱い立場の方々の事を「我が事として」苦楽を共にして生きる。今の「困ったときは松浦市議に」の土台が作られる。



弱者を苦しめる消費税10% 絶対反対、力を合わせ中止させよう

三〇歳で道議選へ立候補。以来、「弱いものには味方がいる」を信条にする。市民活動、政治活動を続け、九五年市議会議員に初当選。市議になって十六年、市民に代わり「市政チェック」と「市民要求実現」の先頭に立ち続けてきた。この姿勢はブレず、筋を通して、今も、これからも！

松浦さとしのホットライン
 生活から福祉・くらし・労働問題まで 090-3391-7192

私の原点

困っている人がいると じっとしていられなくて

いつも全力で

- ◎自分の携帯を「市民のホットライン」として開放。「市民の命綱」と呼ばれる。
- ◎市議会で毎回欠かさず質問し、市政が市民の役に立つよう議論し続けてきました。
- ◎毎週欠かさず雨の日も風の日も街頭宣伝を二〇年間続け、その数三千二百回に
- ◎市民や業者、団体などの要求を聞き、その実現のために頑張ってきました。
- ◎請願や署名の紹介議員になり、毎回議会に届けてきました。
- ◎いつも市民の立場でブレないのは、日本共産党公認だからこそです。

生活相談 4年間で384件に

「集団的自衛権」阻止へ、安倍自公政権暴走ストップを

子・孫を戦場に送るな この願いを日本共産党に

松浦さとしのプロフィール

- ☆1953年（昭和28年）端野町北登で生まれる
- ☆1969年 北見市立東陵中学校卒業後、大一自動車入社、整備士になる。
- ☆1973年 民青同盟に加盟、後に北海道委員
- ☆1983年 道議会議員選挙に立候補
- ☆1986年、90年、94年網走市長選挙に立候補
- ☆1995年 市議会議員に当選
- ☆1999年 網走市議会議員選、2期目に挑戦するも苦杯を喫す
- ☆2003年 市議会議員に当選（現在4期目）
- ☆現在日本共産党北見地区常任委員、日本共産党網走市委員会委員長、北見民主商工会網走支部副支部長
- ☆家族 妻 孝子（ペット病院オーク・獣医師） ペット多数

安倍内閣の暴走から市民生活を守る共産党の議員が必要です

今の市議会は本来の 仕事をしているのでしょうか

(1) 国の悪政を市民にそのまま押し付ける市政。議会は市長提案に「何でも賛成」。その与党会派が定数削減を強行。市政のチェック機能の低下が、さらに進むこととなります。



(2) 国政に市民の声を届ける仕事はどうでしょうか。「消費税増税」や「集団的自衛権」は国が決めることだと賛成、市民請願は却下。国の悪政から市民を守る仕事はこの次です。これでは市民の声を届けることはできません。

市民には負担押し付け…

国保料や後期高齢者・介護保険料などが市議会与党会派の賛成で引き上げられました。消費税と合わせ大負担に。定数削減の際、定数削減で浮いた歳費の半分を使い、議員に年間200万増額要求も出ていた。

市民の暮らしより、自分の懐の事しか考えない議員もいる。共産党は議員定数削減を言うなら、議員歳費下げよと主張。



一緒に議会を変えよう

日本共産党は議会で市政のチェックと、市民要求と請願なども取り上げて来ました。議会に詳しい方から「議員本来の仕事をしている」との評価も。共産党2議席は議案提案権を活用し、市民の要求を実現する力となります。



切実なアンケートに答え(2014年10月)

収入減に物価高の2重苦を何とかして

商店や中小企業も消費税増税で売り上げ減になり、街全体が冷え込んでいます。アンケートでは「アベノミクス」で、暮らしが良くなるとは思えないが多数でした。市政や市議会は市民の健康や子供、老後への支援をするべきとの声が多数でした。また、冬の除雪など厳しい環境のなかで暮らす高齢者への配慮や支援も必要です。

みなさんの要求の実現をめざします

- 1) 全道34市中1番高い国保料を一世帯1万円引き下げをめざします。
- 2) 子どもの医療費(現在中学卒業まで入院無料)を通院も無料化することをめざします。
- 3) 住宅前の除・排雪問題の解決に努力いたします。
- 4) 介護保険利用料の減免制度を拡充いたします。低所得者に保険料・利用料の減免をめざします。
- 5) 特養老人ホームの増床の実現をめざします。
- 6) スケート場を舗装化し、パーク場の設計変更、夏季スポーツ施設(スケボー、ストリートバスケットなど)をつくります。

みなさんと共産党2議席が力を合わせ実現

1. 福祉灯油が2年連続実現
2. 子ども医療費を新婦人のみなさんと力をあわせて運動し、入院費が中学生まで無料に
3. 就学援助制度の拡充、H25年度当初の生活保護費の1.3基準を守らせる
4. 交通量が増えて危険な潮見8丁目T字路に交通指導員配置
5. 労働実態調査の対象を従業員4名以下の業者にも広げることを実現(以前は5名以上)